

KHJ秋田ばっけの会便り



KHJ秋田ばっけの会 会報No.96 (2023年9月号)

皆さまいかがお過ごしでしょうか。

* * * * *

第86回「集い」 9月10日(日)

猛暑もやや落ち着き、14名の参加で行いました。いつものように、参加の皆さまからの参加の目的や近況などのお話の後、自由に話題を出していただきました。

母娘の関わりや心情、父娘のこと、母と息子など、それぞれ参加の皆さん、自らの幼少時経験も含めて、親としての思い、娘、息子としての思いを聴くことができました。

休憩後は、心のスイッチや自分のトリセツなど紹介し合いました。7月の豪雨から2カ月たって、被災の状況も語られました。終盤は、いろいろな人との関わりについての話題になり、いい議論が交わされました。難しい深い内容になりかけたところで、残念ながら時間切れ。モヤモヤ感が漂ったままで・・・〈モヤモヤするということは気付きの種がそこにあるということ〉とのStさんの言葉で、次回機会があったら掘り下げることでとりあえずお開きにしました。

様々な話題の中で、特に今回印象に残ったKkさんの発言をご紹介します。

〈自然災害も、健康も、人も、全て味方にし、チャンスにする。〉

* * * * *

「居場所」 9月16日(土)

12名の参加で行いました。予定時間を超過しての3時間余、参加の皆さんの関心と秋田の話題で貫徹しました。軽いが、軽いがゆえにとでも言いましょうか、こうしておしゃべりできるという快感を、もしかしたら(恐らく)久しぶりに味わっているのではないかと感じられました。その雰囲気寄り添って下さっていた支援者でもあるFy様にも感謝です。

終始おしゃべり会に徹しました。こんな午後があってもいい、あった方がいい、そんな日でした。

* * * * *

スタッフ運営ミーティングを臨時で行いました。7月の豪雨以来、当面の連絡や情報交換のみで、落ち着いて話し合う機会が持てずにおりました。今回、少し時間をとって、じっくりと話し合うことができました。〔ばっけの会〕の現状や大切にしたいことなどを改めて確認、共有しました。

* * * * *

秋田ばっけの会 2023年10月の予定

●第87回「集い」

日時；2023年 10月8日(日) 13:30～15:30

会場；秋田市役所内センター3階 洋室2・3

●本人の会「居場所」

日時；2023年 10月14日(土) 13:30～15:30

会場；秋田市役所内センター3階 和室1・2

●運営ミーティング

10月8日(日)「集い」終了後に予定しています。



《 報告・情報・紹介 》

★ 〔秋田ひきこもりラボ〕が『設立記念フォーラム』を開催します。10月15日(日)13:30～16:00秋田市の遊学舎です。ロザリン・ヨン理事長の基調講演とパネルディスカッション(今野未夏氏、水野淳一郎氏と一緒に〔秋田ばっけの会〕の妹尾弘事務局長がパネラーとして参加します。)が予定されています。ぜひ、ご参加下さい。詳細は、〔ばっけの会〕または〔秋田ひきこもりラボ〕事務局090-5355-9090にお尋ね下さい。

★ 〔秋田ばっけの会〕のMomiさんの『いろいろパステルアートの展示と体験会』が、秋田市文化創造館で行われます。10月9日(月)と11月26日(日)です。

お問い合わせは、<http://nagomimayu2019.wixsite.com/home>

📖 岩波ブックレット『「ひきこもり」の30年を振り返る』

石川良子・林恭子・斎藤環（岩波書店 2023年8月4日第1刷発行）

石川良子氏は松山大学教授・社会学者、林恭子氏は不登校ひきこもり経験者・ひきこもり UX 会議代表理事、斎藤環氏は精神科医・筑波大学教授です。「ひきこもり」の概念は、この30年で大きく変遷し今も変わり続けています。当事者・臨床家・研究者の3人が過去を振り返り、現在を確認し、どのような支援と対応が望ましいか論じています。

★ KHJ 関係の情報です。

*
『KHJ ジャーナルたびだち』（106号初秋号）が10月5日に発行されます。今回の特集は「家族会の居場所づくり」で、香川、栃木と共に「秋田ばっけの会」の記事も掲載されます。10月中旬に届く予定です。皆さまには、11月の「集い」で手にとっていただくこととなります。ぜひ、お読み下さい。

*
再度、『KHJ 全国大会 in 千葉』のご案内です。「それぞれの人権が守られる社会へ～ひきこもり基本法はなぜ必要か～」をテーマに11月4日（土）～5日（日）千葉市で開催されます。

今年は、対面で行われます。申し込み締め切りは10月下旬です。

11月5日は、『ひきこもり つながる・かんがえる対話交流会 with ピアサポーター』も行われます。



今回、KHJ 本部からお話をいただき、「たびだち」に掲載していただくことになりました。事務局スタッフ数名で、「秋田ばっけの会」の設立から今日までを改めて振り返ってみました。本部の上田事務局長（副編集長）とのメールでのやりとりやお電話での話し合い、数回の校正を経て、形にできました。これまでのことを見詰め、これから考えるとても大切ないい機会になったと思います。また、こうして、文章を作り上げていくことの楽しさも同時に味わうことができました。本部の編集部の皆さまが、毎回こうして時間と労力を惜しまず作っておられることも知ることができ、敬意と感謝の気持ちでいっぱいです。

- ※新型コロナウイルスも感染の危険がなくなったわけではありませんし、昨今のように様々な自然災害も起こり得ますので、状況によっては「集い」「居場所」の中止や会場変更などもあります。事前に事務局にお問い合わせ下さい。可能な範囲で、皆さまにお知らせしますが、行き届かない点はご了承下さい。
- ※通院などで事務局不在の場合もありますので、ご連絡やお問い合わせは、できればE-mailか携帯電話のSMSをお願いします。
- ※E-mailアドレスを登録または携帯電話の番号をお知らせいただければ、本部からの急なご案内や事務局からの緊急の連絡などがしやすくなります。ご希望があれば「便り」をメールでお届けすることも可能です。ご協力よろしくをお願いします。

ご連絡・お問い合わせ・ご希望は下記アドレスへどうぞ。 📧



KHJ 秋田ばっけの会事務局 ; 090-9539-2365
khjakitabakke@gmail.com

- ♡感謝
・秋田市の Im 様、Fk 様から年会費をいただきました。
・秋田市の It 様からご寄付を、Kk 様からコピー用紙を沢山いただきました。
・「集い」に参加の皆さま方からカンパやお菓子をたくさんいただきました。
・『たびだち』もお買い求めいただきました。
・電話やメールなどでの連絡、お問い合わせやご相談もたくさんありました。

- ★ 年会費とカンパへのご協力をお願いします。
* 切手やコピー用紙、封筒などの物品も大歓迎です。
* 送金は、北都銀行 檜山支店（名義）KHJ 秋田ばっけの会 事務局長 妹尾弘
（店番）015 （口座番号）8108428